|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | チェック項目**令和１年度　Ｓ－ｔｅｐキッズⅡ　放課後等デイサービス自己評価表** | はい**報告日　令和１年３月２８日** | どちらともいえない | いいえ | 分からない | 改善目標・工夫している点など |
|  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 職員の配置数は適切であるか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ７ | １ |  |  | 手すりやスロープはあるが、細かな設備等はないので、４月からの改修工事の際に整える予定。 |
|  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参画 しているか | ５ | ３ |  |  | 児発管、管理者を中心取り組んでいるが非常勤指導員までしっかり参画できていないところがある。 |
|  | 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている | ８ |  |  |  | ○ |
|  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか | ３ | ５ |  |  | 現在、コンサルテーション会社が入っており外部評価に取り組み業務改善等に繋げている。 |
|  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか | ８ |  |  |  | 外部研修はもちろん。施設内では、福祉専門のソフトを使って基礎を学べる機会も設けている。 |
|  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか | ８ |  |  |  | 季節を感じられる活動や年齢、世代や意識したプログラムを立案している。 |
|  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか | ８ |  |  |  | 平日は短時間で楽しみながら集中できる課題を設定し休日や長期休暇は、楽しめる外出（社会参加活動）などを含めた支援を提供している。 |
|  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成しているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか | ８ |  |  |  | 活動の前後の打ち合わせはもちろんのこと、定期の勉強会やケース検討も行っている。 |
|  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い､気 付いた点等を共有しているか | ５ | ３ |  |  | 常勤職員の間では、共有ができているが、非常勤スタッフは、全て共有できているか？とあると、できていないところがある。共有する仕組みがあるが、どうしても情報に漏れが出てしまうことがある。 |
|  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している か | ８ |  |  |  | ○ |
|  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている | ８ |  |  |  | ○ |
|  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉒ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めているか |  | ２ | ６ |  | 当事業所の方から連絡を取り積極的に情報共有と相互理解に努めたいと思う。 |
| ㉓ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉔ | 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉕ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか |  | ８ |  |  | 慣れ親しんだ地域の公園や小学生のボランティアさんをお受入れしているが、まだまだ交流の機会は少ない。 |
| ㉖ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉗ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉘ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている |  |  | ７ | １ | できていない。講師等をお招きしペアレント・トレーニングをスタッフ・保護者共に学びたい。 |
| ㉙ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉚ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか | ５ | ３ |  |  | ○ |
| ㉛ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか | ８ |  |  |  | 今まで大きな苦情等を頂いていないが、そのような際は、真摯に受け止め対応する。 |
| ㉜ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護 者に対して発信している | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉝ | 個人情報に十分注意しているか | ５ | ３ |  |  | ○ |
| ㉞ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている | ８ |  |  |  | ○ |
| ㉟ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っているか |  | ３ |  | ５ | 施設完成時の内覧会や市内福祉事業所が行うイベントの招待をしているが、改善が必要。 |
| ㊱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ８ |  |  |  | ○ |
| ㊲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っているか | ８ |  |  |  | 各曜日で利用児童が違うのでそれぞれの曜日で年２回計１２回、取り組んでいる。 |
| ㊳ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしているか | ８ |  |  |  | 研修への参加や年２回の事業所内でのセルフチェックを取り組んでいる。 |
| ㊴ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、 放課後等デイサービス計画に記載している | ８ |  |  |  | 事例はないが、身体拘束をする際は、必ず保護者の方に同意の確認をとる。 |
| ㊵ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有しているか | ５ | ３ |  |  | 利用児童それぞれのファイルにヒヤリ・ハットがまとまっているが、まだまだ全体でしっかり共有できていないところがあるので改善が必要。 |

Ｓ－ｔｅｐキッズ保護者等向け　放課後等デイサービス評価アンケート